

ピアノカ™ Pianica™

取扱説明書
Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Manual do Proprietário
Руководство пользователя
使用说明书
사용 설명서

JA
EN
DE
FR
ES
PT
RU
ZH
KO

YAMAHA CORPORATION

10-1 Nakazawa-cho, Naka-ku, Hamamatsu, 430-8650 Japan

ヤマハ株式会社

Manual Development Group
© 2017 Yamaha Corporation
Published 09/2018 発行 PO-80



品名/品番	ピアノカ™ P-37EBR P-37EBK
保証期間	お買い上げ日から1年間
ご購入日	年 月 日
お客様ご住所	
お名前	様
TEL	() 様

※この保証書にご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの情報は、本保証規定に基づき無料修理に関する場合のみ使用いたします。

販売店名	
株式会社ヤマハミュージックシャバン	
教育・アクセサリ課	
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	
TEL 03-5488-1686	
<保証規定>	
1.保証期間中、正常な使用状況（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態）で故障した場合には、無料修理をいたします。	
2.保証期間内でも次の場合は有料修理となります。	
(1)保証書のご提示がない場合	
(2)保証書にお買い上げの年月日、お客様、販売店の記入がない場合、および字句を書き換えられた場合	
(3)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷	
(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷	
(5)火災、地震、洪水害、落雷、その他天災地変、公害、騒音、風害など外部に原因がある故障および損傷	
(6)経時変化による変色や音程の変化	
(7)加湿、乾燥機によって生じる故障、損傷	
(8)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金	
3.この保証書は日本国内のみ有効です。	
This warranty is valid only in Japan.	
4.ご購入品、ご転居後の修理につきましては、お近くの販売店までご相談ください。	
5.この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の上記の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店もしくはヤマハ管楽器修理ご相談センターにお問い合わせください。	

販売店名	
株式会社ヤマハミュージックシャバン	
教育・アクセサリ課	
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11	
TEL 03-5488-1686	
<保証規定>	
1.保証期間中、正常な使用状況（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態）で故障した場合には、無料修理をいたします。	
2.保証期間内でも次の場合は有料修理となります。	
(1)保証書のご提示がない場合	
(2)保証書にお買い上げの年月日、お客様、販売店の記入がない場合、および字句を書き換えられた場合	
(3)使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷	
(4)お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷	
(5)火災、地震、洪水害、落雷、その他天災地変、公害、騒音、風害など外部に原因がある故障および損傷	
(6)経時変化による変色や音程の変化	
(7)加湿、乾燥機によって生じる故障、損傷	
(8)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金	
3.この保証書は日本国内のみ有効です。	
This warranty is valid only in Japan.	
4.ご購入品、ご転居後の修理につきましては、お近くの販売店までご相談ください。	
5.この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の上記の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店もしくはヤマハ管楽器修理ご相談センターにお問い合わせください。	

株式会社ヤマハミュージックシャバン
教育・アクセサリ課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL 03-5488-1686

<保証規定>

- 保証期間中、正常な使用状況（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった使用状態）で故障した場合には、無料修理をいたします。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い上げの年月日、お客様、販売店の記入がない場合、および字句を書き換えられた場合
 - 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、洪水害、落雷、その他天災地変、公害、騒音、風害など外部に原因がある故障および損傷
 - 経時変化による変色や音程の変化
 - 加湿、乾燥機によって生じる故障、損傷
 - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
- この保証書は日本国内のみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
- ご購入品、ご転居後の修理につきましては、お近くの販売店までご相談ください。
- この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の上記の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店もしくはヤマハ管楽器修理ご相談センターにお問い合わせください。

●ご相談窓口のご案内

■製品のご相談
機能や取扱については、お買い上げの販売店または下記ご相談窓口をご利用ください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

0570-013-808
※ 固定電話は、全国国内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は**053-411-4744**へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00（土曜日・日曜日・祝日・センター指定休日を除く）

URL：https://jp.yamaha.com/support/musical-instruments/pianica
※よくあるお問い合わせを掲載しています。

■修理のご相談

お買い上げの販売店または下記ご相談窓口をご利用ください。

ヤマハ管楽器修理ご相談センター

0570-012-808
※ 固定電話は、全国国内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は**053-460-4830**へおかけください。

営業時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00（土曜日・日曜日・祝日・センター指定休日を除く）

※ 都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

<p>専用ケースの使い方 Using the Carrying Case Richtiges Trages des Tragkoffers Utilisation de l'étui Uso de la funda de transporte Como usar a caixa de transporte Использование футляра 使用手提箱 보관함 사용 방법</p>	
---	--

日本語

このたびはヤマハ ピアニカ™をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。この楽器は、独奏からアンサンブルまで楽しめる鍵盤ハーモニカです。この楽器の性能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

* ピアニカ™はヤマハ株式会社の登録商標です。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	注意喚起を示す記号
	禁止を示す記号
	行為を指示する記号

注意

ピアノカや演奏用パイプを振り回したりしない。
本体が破損したり、お客様やほかの方々への危害を及ぼしたりする原因になります。

演奏の際は、必ず演奏用パイプや吹き口の中を確認してから演奏する。
異物があると、吸い込んで事故につながるおそれがあります。

■注記（ご使用上の注意）

楽器の故障、損傷を防ぐため、以下の内容をお守りください。

●楽器の取り扱いに関する注意

- ピアノカを分解しないでください。
- 直射日光の当たる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。楽器の変形や変質の原因となります。
- 楽器の上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。楽器が変色/変質する原因となります。
- 鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れないでください。楽器の故障の原因になることがあります。
- 演奏用パイプの吹き口・ジョイントを取り外さないでください。息もれの原因になります。

●不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

* この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。

音のエチケット
美しい演奏は人にさわやかな感じを与えます。でも練習中の音は時には気になる人もいます。ご近所との日頃のお付き合いとともに、ご迷惑にならないように気を配りましょう。

<p>各部の名称</p> <p>本体</p>	<p>付属品</p> <p>吹き口</p> <p>専用ケース</p> <p>演奏用パイプ</p> <p>ジョイント</p> <p>吹き口</p> <p>パイプクリップ</p> <p>演奏しないときは、図のようにパイプを挟んでおくと、パイプが保持できて便利です。</p>
--------------------------------------	---

吹き口・演奏用パイプの取り付け/取り外し

取り付ける際は、吹き口/ジョイント部を持って、回しながらしっかりと差し込みます。取り外す際も吹き口/ジョイント部を持って、回しながら抜きます。

<p>①</p>	<p>①</p>
<p>②</p>	<p>②</p>

注記

演奏用パイプの吹き口やジョイントを取り外さないでください。息もれの原因になります。万一演奏用パイプのジョイント部をはずしてしまった場合は、必ず右図のようにはめ込んでください。正しくはめられていない場合、ピアノカが使用できなくなります。

<p>水抜き</p> <p>水滴がたまったら、水抜きボタンを押したまま吹き口から息を強く吹き込んで水滴を取ります。</p> <p>* 吹き口を外してから、息を入れる方を下にしてハンカチなどの上で軽くたくことで、水滴を取ることもできます。</p>	
---	--

楽器のお手入れ

- ピアノカを水洗いしないでください。演奏用パイプや吹き口は水洗いできます。
- お手入れには、乾いた柔らかい布、または水を含ませた柔らかい布を固くしぼってお使いください。
- お手入れの際、ベンジンやシンナー、アルコール、洗剤、化学ぞうきんなどを使用しないでください。楽器が変色/変質する原因になります。
- 演奏後は、楽器の水滴を取ってから保管してください。
- ピアノカは使用頻度が高い場合や経年変化により、メンテナンス（調整）が必要な場合があります。メンテナンスをご希望の際は、お買い上げの販売店までご相談ください。

<p>仕様</p> <ul style="list-style-type: none">●鍵盤数・音域：37鍵・f～f^{'''} ●本体カラー：ブラウン(P-37EBR)、ブラック(P-37EBK) ●本体寸法：483(長さ)×104(幅)×50(高さ) mm ●本体質量：830 g ●付属品：吹き口、演奏用パイプ、専用ケース <p>* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。</p>	
--	--

English

Thank you for purchasing the Yamaha Pianica™. This instrument is a keyboard harmonica that can be played solo or in an ensemble. To obtain maximum performance and enjoyment from this instrument, be sure to read this manual carefully. After reading it, be sure to store it in a safe place so that you can refer back to it again as needed.

* Pianica™ is a registered trademark of Yamaha Corporation.

PRECAUTIONS

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE PROCEEDING

CAUTION
Always follow the basic precautions listed below to avoid the possibility of physical injury to you or others, or damage to the instrument or other property. These precautions include, but are not limited to, the following:

● **Do not swing the Pianica or the extension pipe.**
Improper handling can damage the instrument, or cause personal injury.

● **Before playing, check inside the extension pipe and the mouthpiece.**
Inhaling foreign objects may result in injury.

NOTICE
To avoid the possibility of malfunction and damage to the product, follow the notices below.

● Handling

- Do not disassemble the Pianica.
- Do not expose the instrument to extreme heat such as in direct sunlight (inside a car during the day, etc.) and near a stove, or to extreme cold. Also do not expose it to excessive dust or vibrations. Doing so may cause deformation or alteration of the instrument.
- Do not place products made from materials such as vinyl, plastic, or rubber on the instrument. Doing so can cause discoloration and alter the instrument.
- Do not place foreign objects such as metals or scraps of paper in the gaps between the keys in the keyboard. Doing so can cause the instrument to malfunction.
- Do not remove the mouthpiece or joint section from the extension pipe. Doing so can cause air to leak.

Yamaha cannot be held responsible for damage caused by improper use or modifications to the instrument.

* All illustrations used in this manual are for instruction purpose, and may differ from the actual specifications of the instrument.

Part Names

<p>Body</p>	<p>Accessories</p> <p>Mouthpiece</p> <p>Carrying case</p> <p>Extension pipe</p> <p>Joint</p> <p>Mouthpiece</p> <p>Pipe clip</p> <p>When not playing, use the pipe clip to conveniently hold the pipe (as shown).</p>
--------------------	---

<p>Attaching/Removing the Mouthpiece/Extension Pipe</p> <p>When attaching, hold the mouthpiece/joint section and insert firmly while rotating.</p> <p>To remove the mouthpiece/joint section, pull while rotating.</p>	<p>①</p>
<p>②</p>	<p>②</p>

Attaching/Removing the Mouthpiece/Extension Pipe
When attaching, hold the mouthpiece/joint section and insert firmly while rotating. To remove the mouthpiece/joint section, pull while rotating.

<p>①</p>	<p>①</p>
<p>②</p>	<p>②</p>

NOTICE

Do not remove the mouthpiece or joint from the extension pipe. Doing so can cause air to leak. If the joint section has become detached from the extension pipe joint section, reattach (as shown at right). If not properly refitted, the Pianica will become unusable.

Draining Moisture

When moisture accumulates in the instrument, hold the drain button and blow hard into the mouthpiece to remove the moisture.

* Moisture can also be removed by removing the mouthpiece, then while holding the instrument over a cloth with the mouthpiece receptacle pointing down, tap the instrument lightly.

Instrument Care

- Do not wash the Pianica. The extension pipe and mouthpiece can be cleaned with water.
- Use a soft dry cloth, or a soft damp cloth that is well wrung out to clean.
- When cleaning, do not use benzine or paint thinner, alcohol, detergents, or chemically treated cloth. Doing so can cause discoloration and alter the instrument.
- After playing, remove moisture from the instrument before storing.
- A frequently used or aging Pianica may require maintenance (adjustment). For maintenance, please consult with your dealer.

<p>Specifications</p> <ul style="list-style-type: none">● Number of keys/range: 37 keys, f to f^{'''} ● Body color: Brown (P-37EBR), Black (P-37EBK) ● Dimensions: 483 × 104 × 50 mm (19" × 4-1/8" × 1-15/16") ● Weight: 830 g (1829 lbs., 13 oz) ● Accessories: mouthpiece, extension pipe, carrying case <p>* This manual was prepared using the latest specifications available at the time of publishing. The most up-to-date version is available for download at the Yamaha website.</p>	
---	--

Deutsch

Vielen Dank für den Kauf dieses Pianica™ von Yamaha. Dieses Instrument ist eine Harmonika mit einer Tastatur, das einzeln oder in einem Ensemble gespielt werden kann.

Lesen Sie das Handbuch sorgfältig durch, um in den Genuss der optimalen Leistung des Instruments zu kommen. Bewahren Sie es an einem sicheren Ort auf, um es bei Bedarf jederzeit zur Hand haben.

* Pianica™ ist eine eingetragene Handelsmarke der Yamaha Corporation.

VORSICHTSMASSNAHMEN

BITTE VOR GEBRAUCH SORGFÄLTIG DURCHLESEN

VORSICHT
Befolgen Sie unbedingt die nachfolgenden grundlegenden Vorsichtsmaßnahmen, um die Gefahr zu vermeiden, sich selbst oder Dritte zu verletzen oder das Instrument oder andere Gegenstände zu beschädigen. Diese Vorsichtsmaßnahmen umfassen unter anderem folgende Punkte:

- Lassen Sie die Pianica oder den Anblassschlauch nicht pendeln.**
Eine unsachgemäße Handhabung kann zu einer Beschädigung des Instruments oder zu Verletzungen führen.
- Prüfen Sie vor dem Spiel das Innere des Anblassschlauchs und des Mundstücks.**
Ein Einatmen von Fremdkörpern kann zu Verletzungen führen.

ACHTUNG
Um mögliche Fehlfunktionen und Beschädigungen des Produkts zu vermeiden, befolgen Sie bitte die nachstehenden Hinweise.

- Handhabung**
 - Zerlegen Sie die Pianica nicht.
 - Setzen Sie das Instrument keiner extremen Hitze, beispielsweise direkter Sonneneinstrahlung (während des Tags in einem Fahrzeug) oder der Nähe eines Heizofens, oder extremer Kälte aus. Vermeiden Sie außerdem starken Staub und Vibrationen. Dies kann zu Verformungen oder Veränderungen des Instruments führen.
 - Legen Sie keine Produkte aus Vinyl, Kunststoff oder Gummi auf dem Instrument ab. Dies kann zu Verfärbungen und Veränderungen des Instruments führen.
 - Stecken Sie keine Fremdkörper aus Metall oder Papierschrot in die Lücken zwischen den Tasten der Tastatur. Dadurch kann es zu Fehlfunktionen des Instruments kommen.
 - Ziehen Sie das Mundstück oder das Verbindungsstück nicht von dem Anblassschlauch ab. Dies kann zum Entweichen von Luft führen.

Yamaha haftet nicht für Schäden, die auf eine unsachgemäße Bedienung oder Änderungen am Instrument zurückzuführen sind.

* Alle in diesem Handbuch verwendeten Abbildungen dienen nur zu Anleitungszwecken und können von den tatsächlichen Spezifikationen des Instruments abweichen.

Teilebezeichnungen

<p>Körper</p>	<p>Zubehör</p> <p>Tragkoffer</p> <p>Anblassschlauch</p> <p>Verbindungsstück</p> <p>Mundstück</p> <p>Mundstück</p> <p>Schlauch-Clip</p> <p>Wenn Sie nicht spielen, verwendet Sie den Schlauch-Clip zum bequemen Befestigen des Schlauchs (wie gezeigt).</p>
----------------------	---

<p>Befestigen/Entfernen von Mundstück/Anblassschlauch</p> <p>Halten Sie Mundstück/Verbindungsstück beim Befestigen und schieben Sie während des Drehens fest ein. Zu Entfernen von Mundstück/Verbindungsstück ziehen Sie während des Drehens ab.</p>	<p>①</p>
<p>②</p>	<p>②</p>

Befestigen/Entfernen von Mundstück/Anblassschlauch
Halten Sie Mundstück/Verbindungsstück beim Befestigen und schieben Sie während des Drehens fest ein. Zu Entfernen von Mundstück/Verbindungsstück ziehen Sie während des Drehens ab.

<p>①</p>	<p>①</p>
<p>②</p>	<p>②</p>

ACHTUNG
Ziehen Sie das Mundstück oder das Verbindungsstück nicht von dem Anblassschlauch ab. Dies kann zum Entweichen von Luft führen. Wenn sich das Verbindungsstück von dem Verbindungsstück des Anblassschlauchs gelöst hat, befestigen Sie es wieder (wie rechts gezeigt). Wenn es nicht wieder sachgemäß angebracht wird, ist die Pianica nicht mehr spielbar.

Ablauf von Nässe

Wenn sich im Instrument Nässe ansammelt, halten Sie den Wasserablaufknopf und blasen stark in das Mundstück, um die Nässe zu entfernen.

* Nässe können Sie auch durch Abziehen des Mundstücks entfernen; halten Sie dann das Instrument mit nach unten gerichteter Mundstückaufnahme über ein Tuch, und klopfen Sie sacht auf das Instrument.

Instrumentenpflege

- Waschen Sie die Pianica nicht ab. Anblassschlauch und Mundstück können mit Wasser gereinigt werden.
- Verwenden Sie ein weiches trockenes Tuch oder ein weiches feuchtes und gut ausgewrungenes Tuch zum Reinigen.
- Verwenden Sie zum Reinigen weder Waschenzin noch Farberwässer, Alkohol, chemische Reinigungsmittel oder chemisch behandelte Tücher. Dies kann zu Verfärbungen und Veränderungen des Instruments führen.
- Entfernen Sie nach dem Spielen Nässe aus dem Instrument, bevor Sie es einpacken.
- Für eine häufig verwendet oder ältere Pianica kann eine Wartungsmaßnahme (Einstellung) erforderlich werden. Wenden Sie sich wegen Wartungsmaßnahmen an Ihren Händler.

Spezifikationen

- Tastenanzahl/Bereich: 37 Tasten, f bis f^{'''}
- Farbe des Körpers: Braun (P-37EBR), Schwarz (P-37EBK)
- Maße: 483 × 104 × 50 mm
- Gewicht: 830 g
- Zubehör: Mundstück, Anblassschlauch, Tragkoffer

* Dieses Handbuch wurde nach dem neusten Stand der Technik zum Zeitpunkt der Veröffentlichung erstellt. Die aktuelle Version steht auf der Yamaha-Website kostenlos zum Herunterladen bereit.

Français

Nous vous remercions d’avoir choisi le Pianica™ de Yamaha. Cet harmonica à clavier peut être utilisé seul ou dans un ensemble.

Pour obtenir les meilleures performances et tirer le meilleur parti de cet instrument, veuillez lire ce manuel attentivement. Conservez-le ensuite en lieu sûr afin de pouvoir le consulter chaque fois que nécessaire.

* Pianica™ est une marque déposée de Yamaha Corporation.

PRÉCAUTIONS

LISEZ ATTENTIVEMENT AVANT DE PROCÉDER À TOUTE MANIPULATION

ATTENTION
Observez toujours les précautions élémentaires reprises ci-dessous pour éviter tout risque de blessures corporelles, à vous-même ou à votre entourage, ainsi que la détérioration de l’instrument ou de tout autre bien. La liste de ces précautions n’est toutefois pas exhaustive :

- Ne balancez pas le Pianica ou le tuyau. Si vous manipulez l’appareil de façon inappropriée, vous risquez de l’endommager ou de vous blesser.
- Avant de jouer, vérifiez l’intérieur du tuyau et l’embouchure. L’ingestion de corps étrangers peut provoquer des blessures.

AVIS
Pour éviter d’endommager le produit ou de perturber son fonctionnement, il est indispensable de respecter les avis ci-dessous.

- **Manipulation**
 - Ne démontez pas le Pianica.
 - Ne laissez pas l’instrument exposé à des conditions extrêmes de froid ou de chaleur (à la lumière directe du soleil dans une voiture en pleine journée, à proximité d’un radiateur, etc.). Ne laissez pas non plus l’instrument exposé à un environnement trop poussiéreux ou à des vibrations excessives. Cela pourrait déformer ou altérer l’instrument.
 - Ne déposez pas d’objets en vinyle, en plastique ou en caoutchouc sur l’instrument. L’instrument risquerait d’être décoloré et altéré.
 - Ne placez aucun objet (tel qu’un objet métallique ou un morceau de papier) entre les touches du clavier. Ceci pourrait provoquer le dysfonctionnement de l’appareil.

Español ES

Gracias por adquirir el Yamaha Pianica™. Este instrumento es una armónica de teclado (melódica) que se puede tocar con o sin acompañamiento.

Para obtener el máximo rendimiento y satisfacción de este instrumento, asegúrese de leer atentamente este manual. Una vez leído, asegúrese de guardarlo en un lugar seguro, de manera que pueda volver a consultarlo si fuera necesario.

* Pianica™ es una marca registrada de Yamaha Corporation.

PRECAUCIONES

POR FAVOR, LEA ATENTAMENTE ANTES DE USAR

⚠️ ATENCIÓN

Siga siempre las precauciones básicas que se muestran a continuación para evitar posibles lesiones personales, así como daños en el instrumento o en otros objetos. Entre estas precauciones se incluyen, entre otras, las siguientes:

- No agite la Pianica ni el tubo alargador. Una manipulación incorrecta puede dañar el instrumento o provocar lesiones personales.
- Antes de tocarlo, revise el interior del tubo alargador y de la boquilla. La inhalación de objetos extraños puede producir lesiones.

AVISO

Para evitar un mal funcionamiento o daños en el producto, siga las siguientes indicaciones.

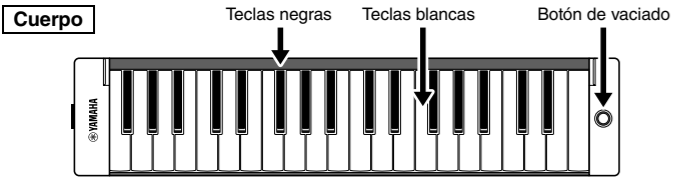
● Manipulación

- No desmonte la Pianica.
- No exponga el instrumento a un calor excesivo, como bajo la luz solar directa (en el interior del coche durante el día, por ejemplo) o cerca de los fogones, ni a un frío excesivo. Tampoco lo exponga a polvo o a vibraciones excesivos. El instrumento se podría deformar o dañar.
- No ponga productos de vinilo, plástico o goma encima del instrumento. Podría deteriorar o causar decoloraciones en el instrumento.
- No ponga objetos extraños como metales o trozos de papel en los huecos entre las teclas del teclado. Se podría producir un mal funcionamiento del instru-mento.
- No retire la boquilla ni la junta del tubo alargador. Podría provocar una fuga de aire.

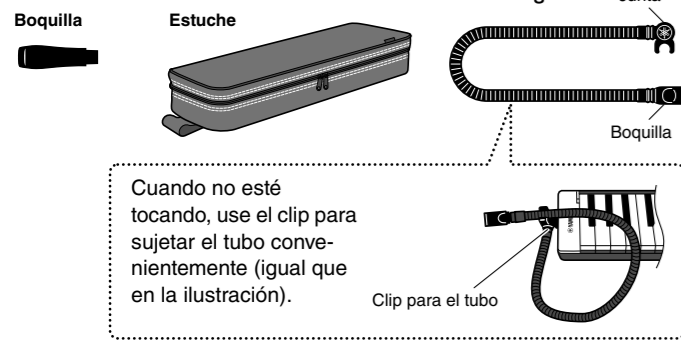
<div><div></div><div>Yamaha no puede considerarse responsable de los daños causados por uso indebido o modificaciones en el instrumento.</div></div>
--

* La finalidad de todas las ilustraciones del manual es la de servir como ejemplo, por lo que las características técnicas reales del instrumento pueden ser diferentes.

Nombres de las partes



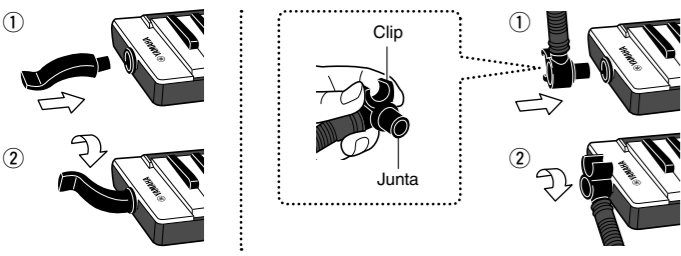
Accesorios



Conectar y desconectar la boquilla y el tubo alargador

Para conectar, sujete la boquilla o la junta del tubo e inserte con firmeza mientras las gira.

Para desconectar la boquilla o la junta del tubo, tire mientras gira.



AVISO

No retire la boquilla ni la junta del tubo alargador. Podría provocar una fuga de aire. Si el extremo del tubo alargador no queda bien ajustado con la junta, vuelva a colocarlo (como puede ver a la derecha). Si no se ajusta adecuadamente, la Pianica no funcionará.

Vaciado de la condensación

Para eliminar la condensación acumulada en el instrumento, apriete el botón de vaciado y sople con fuerza a través de la boquilla.

* También puede eliminar la condensación quitando la boquilla, colocando el instrumento con el orificio de la boquilla hacia abajo sobre un trapo y dándole unos golpecitos con suavidad.

Cuidados del instrumento

- No lave la Pianica. Puede limpiar con agua el tubo alargador y la boquilla.
- Para su limpieza, utilice un trapo suave y seco o un trapo suave ligeramente húmedo muy bien escurrido.
- No use bencina, disolventes, alcohol, detergentes o trapos tratados químicamente para limpiarla. Podría deteriorar o causar decoloraciones en el instrumento.
- Después de tocar, elimine la condensación del instrumento antes de guardarlo.
- Una Pianica que se usa con frecuencia o desde hace mucho tiempo puede necesitar mantenimiento (puesta a punto). Por favor, consulte a su distribuidor para el mantenimiento.

Características técnicas

- **Número de teclas y rango:** 37 teclas, f to f''' (3 octavas de fa a fa)
- **Color del cuerpo:** Marrón (P-37EBR), negro (P-37EBK)
- **Dimensiones:** 483 × 104 × 50 mm
- **Peso:** 830 g
- **Accesorios:** boquilla, tubo alargador, estuche

* Este manual se elaboró de acuerdo a las características técnicas más actuales disponibles en el momento de la publicación. Puede descargar la versión más actualizada disponible desde la página web de Yamaha.

Português PT

Obrigado por adquirir o Yamaha Pianica™. Este instrumento é uma gaita com teclado que pode ser tocada sozinha ou em um conjunto.

Para obter o máximo desempenho e aproveitamento deste instrumento, leia este manual com atenção. Após a leitura, guarde o manual em um local seguro para que você possa consultá-lo novamente se necessário.

* Pianica™ é uma marca registrada da Yamaha Corporation.

PRECAUÇÕES

⚠️ CUIDADO

Siga sempre as precauções básicas mencionadas abaixo para evitar que você ou outras pessoas se machuquem, bem como para evitar que ocorram avarias no instrumento ou em outros objetos. Essas precauções incluem, mas não estão limitadas a:

- Não balance o Pianica ou o tubo de extensão. O manuseio inadequado pode danificar o instrumento ou causar ferimentos.
- Antes de tocar, inspecione o interior do tubo de extensão e o bocal. Inalar objetos estranhos pode resultar em ferimentos.

AVISO
Para evitar o mau funcionamento e danos ao produto, siga os avisos abaixo.

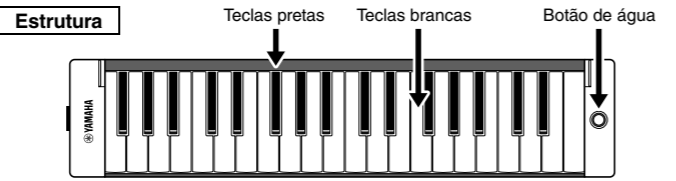
● Manuseio

- Não desmonte o Pianica.
- Não exponha o instrumento a frio ou calor extremo, como luz solar direta (dentro de um carro durante o dia etc.) e próximo a um fogão. Além disso, não o exponha a poeira ou vibrações excessivas. Isso pode provocar deformações ou alterações do instrumento.
- Não coloque produtos feitos de materiais como vinil, plástico ou borracha sobre o instrumento. Isso pode causar descoloração e alterar o instrumento.
- Não coloque objetos estranhos, como metais ou pedaços de papel, nos espaços entre as teclas do teclado. Isso pode ocasionar o mau funcionamento do instrumento.
- Não coloque produtos feitos de materiais como vinil, plástico ou borracha sobre o instrumento.
- Não coloque objetos estranhos, como metais ou pedaços de papel, nos espaços entre as teclas do teclado. Isso pode ocasionar o mau funcionamento do instrumento.
- Não remova o bocal ou a junção do tubo de extensão. Isso pode provocar vazamento de ar.

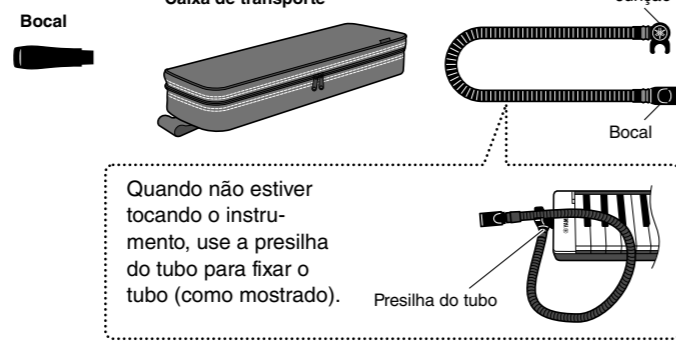
<div><div></div><div>A Yamaha não pode ser responsabilizada por danos causados pelo uso indevido ou por modificações efetuadas no instrumento.</div></div>
--

* Todas as ilustrações usadas neste manual têm fins explicativos e podem ser diferentes das especificações reais do instrumento.

Nomes das peças



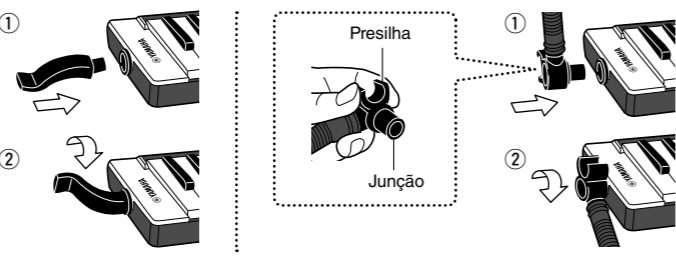
Accesórios



Encaixar/remover o bocal/tubo de extensão

Para encaixar, segure o bocal/a junção e insira com firmeza, girando ao mesmo tempo.

Para remover o bocal/a junção, puxe girando ao mesmo tempo.



AVISO

Não remova o bocal ou a junção do tubo de extensão. Isso pode provocar vazamento de ar. Se a junção se desencaixar da junção do tubo de extensão, reencaixe-a (como mostrado à direita). Em caso de mau encaixe, o Pianica ficará inutilizável.

Drenagem de umidade

Quando umidade se acumular no instrumento, segure o botão de água e sopre com força dentro do bocal para remover a umidade.

* Outra forma de remover a umidade é retirar o bocal e, com o instrumento apoiado sobre um pano ou o receptáculo do bocal apontado para baixo, dar tapas leves no instrumento.

Cuidado do instrumento

- Não lave o Pianica. O tubo de extensão e o bocal podem ser limpos com água.
- Utilize um pano macio e seco ou úmido bem torcido para limpar.
- Para limpar, não use benzina ou diluente, álcool, detergentes ou panos tratados quimicamente. Isso pode causar descoloração e alterar o instrumento.
- Depois de tocar, remova a umidade do instrumento antes de guardá-lo.
- Se for usado com frequência ou tiver muito tempo de uso, o Pianica pode precisar de manutenção (ajuste). Para manutenção, consulte seu revendedor.

Especificações

- **Número de teclas/extensão:** 37 teclas, f a f'''
- **Cor da estrutura:** Marrom (P-37EBR), preto (P-37EBK)
- **Dimensões:** 483 × 104 × 50 mm
- **Peso:** 830 g
- **Accesórios:** bocal, tubo de extensão, caixa de transporte

* Este manual foi preparado com base nas especificações mais recentes disponíveis no momento da publicação. A versão mais recente está disponível para download gratuitamente no site da Yamaha.

Русский RU

Благодарим за покупку пианики Yamaha Pianica™. На этом инструменте можно играть в одиночку и в ансамбле.

Чтобы пианика радовала вас своим звучанием, обязательно прочтите это руководство. После прочтения храните его в надежном месте, чтобы при необходимости можно было им воспользоваться.

* Pianica™ — это зарегистрированный товарный знак корпорации Yamaha.

МЕРЫ ПРЕДОСТОРОЖНОСТИ

⚠️ ВНИМАНИЕ

Всегда соблюдайте приведенные ниже основные меры безопасности, чтобы избежать травм, а также повреждения инструмента и другого имущества. Они включают перечисленные ниже меры, но не ограничиваются ими:

- Не размахивайте пианикой или трубкой-удлинителем. Неправильное обращение может привести к повреждению инструмента или травме.
- Прежде чем играть, убедитесь, что в трубке-удлинителе и мундштуке нет посторонних предметов. Их вдыхание может привести к травме.

УВЕДОМЛЕНИЕ

Чтобы избежать сбой в работе и повреждения изделия, соблюдайте указанные ниже правила.

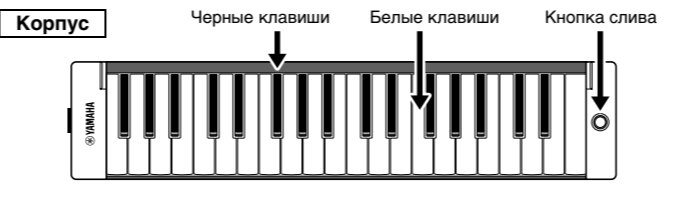
● Обращение

- Не разбирайте инструмент.
- Не подвергайте инструмент воздействию слишком высоких и низких температур. В частности, не оставляйте его под прямыми солнечными лучами (например, в автомобиле в светлое время суток) и возле плиты. Кроме того, берегите инструмент от чрезмерной запыленности и сильных вибраций. Они могут привести к деформации или изменению свойств инструмента.
- Не размещайте на инструменте изделия из таких материалов, как винил, пластик или резина. Это может привести к обесцвечиванию и изменению свойств инструмента.
- Не размещайте посторонние предметы, такие как металлические изделия или клочки бумаги, между клавишами. Это может привести к сбою в работе.
- Не снимайте мундштук или соединитель с трубки-удлинителя. Это может привести к утечке воздуха.

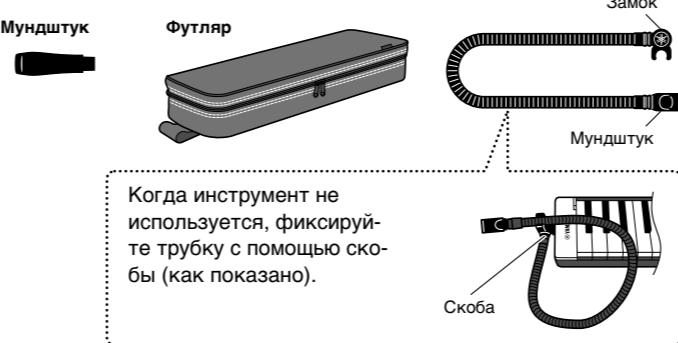
<div><div></div><div>Корпорация Yamaha не несет ответственности за повреждения, вызванные неправильной эксплуатацией или модификацией инструмента.</div></div>
--

* Все иллюстрации в этом руководстве представлены только для примера, в действительности инструмент может выглядеть несколько иначе.

Названия частей

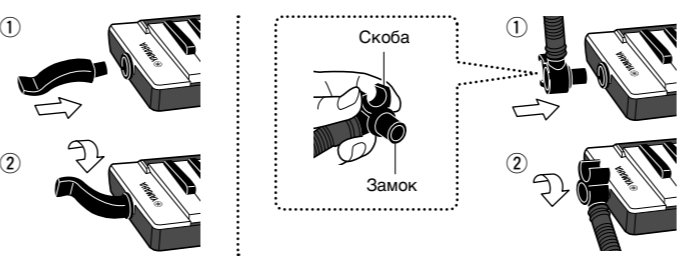


Принадлежности



Присоединение и отсоединение мундштука и трубки-удлинителя

Удерживая мундштук и соединитель, плотно вставьте трубку в скобу, одновременно прокручивая ее.



УВЕДОМЛЕНИЕ

Не снимайте мундштук или соединитель с трубки-удлинителя. Это может привести к утечке воздуха. Если соединитель отделился от трубки-удлинителя, присоедините его заново (как показано справа). Если вы сделаете это неправильно, пианику нельзя будет использовать.

Слив влаги

Если в инструменте накопилась влага, удерживая кнопку слива, сильно подуйте в мундштук, чтобы удалить ее.

* Чтобы удалить влагу, также можно снять мундштук и, удерживая инструмент над тканью разъемом для мундштука вниз, слегка постучать инструментом.

Обращение с инструментом

- Не мойте пианику. Трубку-удлинитель и мундштук можно мыть водой.
- Используйте для очистки мягкую сухую ткань или хорошо выжатую влажную ткань.
- При чистке не используйте бензин или растворитель, спирт, моющие средства или ткань, обработанную химреагентами. Это может привести к обесцвечиванию и изменению свойств инструмента.
- Прежде чем класть инструмент в футляр, удалите из него влагу.
- Со временем может потребоваться техническое обслуживание (настройка) пианики. В этом случае обратитесь к дилеру Yamaha.

Технические характеристики

- **Количество клавиш/диапазон:** 37, f – f'''
- **Цвет корпуса:** коричневый (P-37EBR), черный (P-37EBK)
- **Размеры:** 483 × 104 × 50 мм
- **Вес:** 830 г
- **Принадлежности:** мундштук, трубка-удлинитель, футляр

* Это руководство было подготовлено с использованием последних технических характеристик, доступных на момент публикации. Актуальную версию можно загрузить на веб-сайте Yamaha.

中文 ZH

感谢您购买 Yamaha Pianica™。本乐器是可用于独奏或合奏的键盘口风琴。

要获得本乐器演奏的最佳性能和效果，请务必仔细阅读本手册。

阅读后，请务必妥善存放，以便需要时可以再次参考。

* Pianica™ 是 Yamaha Corporation 的注册商标。

注意事項

⚠️ 注意
请仔细阅读，然后再继续操作

请务必遵守下列基本注意事项，以避免对您或他人造成人身伤害，或损坏乐器或其他财产。这些注意事项包括但不限于下列情况：

- **请勿摇晃 Pianica 或加长管。** 操作不当会损坏乐器或造成人身伤害。
- **演奏前，请检查加长管和吹嘴的内部。** 吸入异物可能会导致人身伤害。

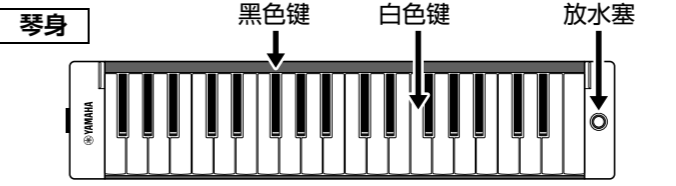
须知
为避免产品可能受到损坏和发生故障，请注意下列事项。

- **操作**
- 请勿拆卸 Pianica。
- 请勿将乐器置于阳光直射下（白天车内等）和火炉旁等极端高温下，或者置于极端寒冷下。此外，请勿将乐器置于灰尘过多或振动过大的环境中。否则可能导致乐器变形或性能变差。
- 请勿在乐器上放置用乙烯基、塑料或橡胶等材料制成的产品。否则会导致乐器变色以及使乐器发生改变。
- 请勿在键盘按键之间的缝隙中遗留金属或纸屑等异物。否则可能会导致乐器故障。
- 请勿从加长管中取出吹嘴或连接头部分。否则可能会导致漏气。

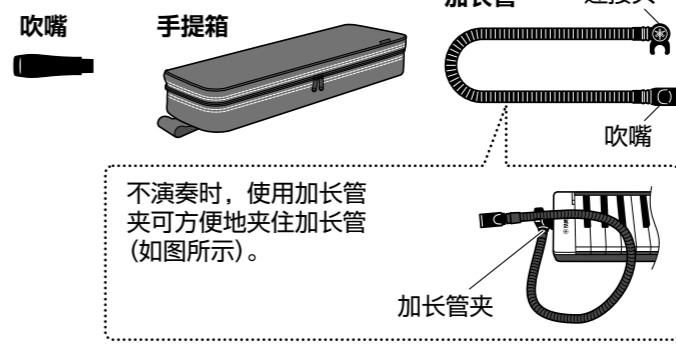
<div><div></div><div>由于不正当使用或擅自改造本乐器所造成的损失，Yamaha 不负任何责任。</div></div>

* 本手册中使用的所有插图均用于说明，可能与乐器的实际规格有所不同。

部件名称



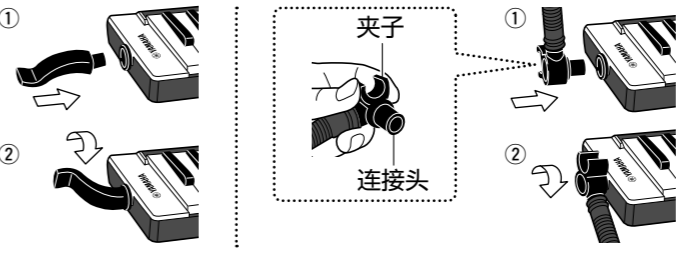
附件



安装 / 拆卸吹嘴 / 加长管

安装时，握住吹嘴 / 连接头部分，然后将其一边旋转一边牢固地插入。

要拆下吹嘴 / 连接头部分，请将其一边旋转一边拉出。



须知

请勿从加长管中拆下吹嘴或连接头。否则可能会导致漏气。如果连接头部分已经从加长管接头部分上脱离，请重新安装（如右图所示）。如果未正确重新安装，Pianica 将无法使用。

排干水分

乐器中有水分积存时，请握住放水塞并向吹嘴中用力吹气，以清除水分。

* 也可以按以下方法清除水分：拆下吹嘴，然后用一块布握住乐器，使吹嘴接口朝下，并轻拍乐器。

乐器保养

- 请勿清洗 Pianica。可以用水清洁加长管和吹嘴。
- 使用软干布或已拧干的软湿布进行清洁。
- 清洁时，请勿使用汽油或油漆稀释剂、酒精、去垢剂或经化学处理的布。否则会导致乐器变色以及使乐器发生改变。
- 演奏完毕后，请先清除乐器中的水分，然后再存放。
- 如果 Pianica 经常使用或出现老化，可能需要维护（调整）。如需维护，请咨询经销商。

规格

- **键数 / 音域:** 37 键, f 至 f'''
- **琴身颜色:** 棕色 (P-37EBR), 黑色 (P-37EBK)
- **尺寸:** 483 × 104 × 50 mm
- **重量:** 830 g
- **附件:** 吹嘴、加长管、手提箱
- * 本手册根据发布时所提供的最新产品规格编写。可从 Yamaha 网站下载最新版本。

<div><div></div><div>保护环境 如果需要废弃设备时，请与本地相关机构联系，获取正确的废弃方式。 请勿将设备随意丢弃或作为生活垃圾处理。</div></div>
--

雅马哈乐器音响(中国)投资有限公司
上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼
客户服务热线：4000517700
公司网址：http://www.yamaha.com.cn

制造商： 雅马哈株式会社
制造商地址： 日本静冈县滨松市中区中泽町10-1
原产地： 印度尼西亚

한국어 KO

Yamaha Pianica™ 를 구입해주셔서 감사합니다. 이 악기는 솔로 또는 앙상을 연주기 가능한 키보드 하모니카입니다. 악기의 성능이 최대한 발휘되고 즐겁게 연주를 하기 위해 사용하기 전에 본 설명서를 주의깊게 읽을 것을 권장합니다. 읽으신 후에는 설명서를 찾기 쉬운 장소에 보관하여 추후에 필요하실 경우 다시 참고하시기 바랍니다.

* Pianica™는 Yamaha Corporation의 등록 상표입니다.

안전 주의사항

다음 단계로 진행하기 전에 아래 내용을 주의깊게 읽어주시시오.

⚠️ 주의

아래에 열거되어 있는 기본 주의사항을 반드시 준수하여 본인이나 타인의 신체적 부상 또는 본 악기나 기타 재산의 손상을 방지하시기 바랍니다. 다음과 같은 주의사항들이 있으나 이 사항들에 국한되는 것은 아닙니다.

- **Pianica 또는 연주용 파이프를 휘두르지 마십시오.** 부적절한 취급은 악기의 손상 또는 신체적 부상의 원인이 될 수 있습니다.
- **연주하기 전에, 연주용 파이프와 마우스피스 내부를 확인하십시오.** 이물질들 흡입하게 되면 부상을 입을 수 있습니다.

주의사항

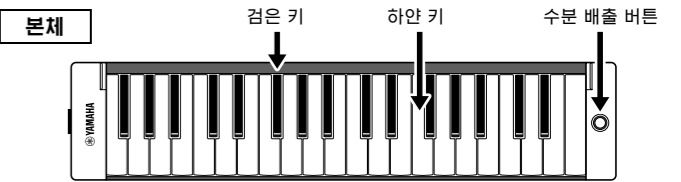
제품의 오작동 및 손상 가능성을 방지하기 위해, 아래 주의사항을 준수해주시시오.

- **취급**
- Pianica를 분해하지 마십시오.
- 악기가 직사광선(낮 동안의 차량 내부 등) 난로 같은 과도한 열기 또는 냉기에 노출되지 않도록 하십시오. 먼지나 진동이 심한 곳에 노출해서도 안 됩니다. 악기가 변형될 수 있습니다.
- 비닐, 플라스틱 또는 고무와 같은 재질로 만들어진 제품을 악기 위에 올려두지 마십시오. 악기가 변색 또는 변형될 수 있습니다.
- 키보드의 키 사이에 있는 틈에 금속과 같은 이물질 또는 종이조각이 들어가지 않도록 하십시오. 악기가 오작동할 수 있습니다.
- 마우스피스 또는 조인트 부분을 연주용 파이프로부터 분리하지 마십시오. 공기가 새어나갈 수 있습니다.

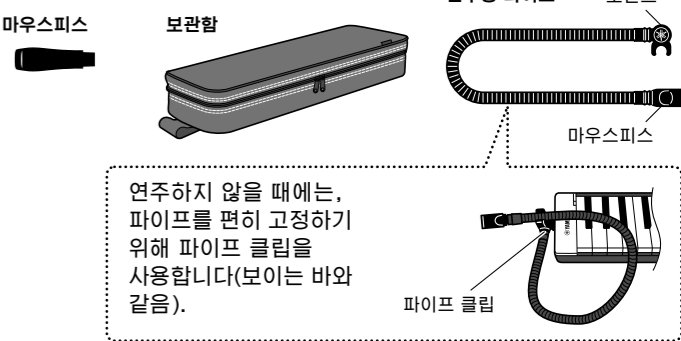
<div><div></div><div>Yamaha는 부적절하게 악기를 사용하거나 개조하여 발생한 고장 또는 데이터 손실이나 파손에 대해 책임지지 않습니다.</div></div>
--

* 본 설명서의 그림은 모두 설명 목적으로 사용되었으며, 실제 악기의 사양과는 차이가 있을 수 있습니다.

부품 이름



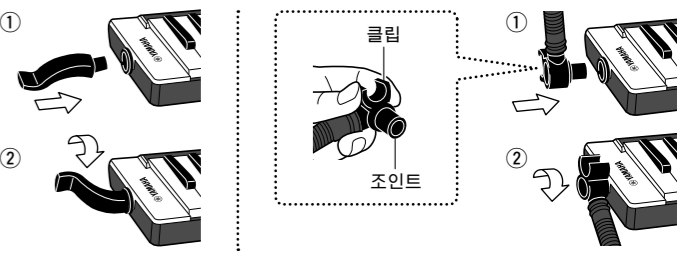
부속품



마우스피스/연주용 파이프 부착/탈착

부착할 때에는, 마우스피스/조인트 부분을 잡고 회전시키면서 힘주어 삽입합니다.

마우스피스/조인트 부분을 탈착하려면, 회전시키면서 잡아 당깁니다.



주의사항

마우스피스 또는 조인트 부분을 연주용 파이프로부터 분리하지 마십시오. 공기가 새어나갈 수 있습니다. 조인트 부분이 연주용 파이프의 조인트 부분으로부터 분리된 경우, 다시 부착하도록 합니다(오른쪽에 보이는 바와 같음). 적절하게 결합되지 않은 경우, Pianica를 사용할 수 없을 수도 있습니다.

수분 배출

수분이 악기 내부에 고이면, 수분 배출 버튼을 누르고 마우스피스를 세게 눌러 수분을 제거합니다.

* 마우스피스를 탈착하여 수분을 제거할 수도 있습니다. 그런 경우 전 위에서 마우스피스 리셉터를 아래쪽으로 기울여 잡고 가볍게 악기를 두드립니다.

악기 관리

- Pianica를 씻으면 안 됩니다. 연주용 파이프와 마우스피스는 물로 세척할 수 있습니다.
- 부드러운 마른 천 또는 물에 적셨다 짜낸 천을 사용하여 세척합니다.
- 세척 시 벤젠이나 페인트 신나, 알코올, 세제, 또는 화학적으로 처리된 천을 사용하면 안 됩니다. 악기가 변색 또는 변형될 수 있습니다.
- 연주 후에는, 악기에서 수분을 제거하여 보관하십시오.
- 자주 사용하거나 오래된 Pianica는 유지 관리(조정)가 필요할 수 있습니다. 유지 관리 관련하여서는, 판매자와 상의해 주십시오.

시양

- **키/레인지 수:** 37 키, f ~ f'''
- **본체 색상:** 브라운 (P-37EBR), 블랙 (P-37EBK)
- **크기:** 483 × 104 × 50 mm
- **무게:** 830 g
- **부속품:** 마우스피스, 연주용 파이프, 보관함

* 본 설명서는 인쇄 당시 이용 가능한 가장 최신 사양을 바탕으로 작성되었습니다. 아라 웹사이트에서 이용 가능한 가장 최신 버전을 다운로드할 수 있습니다.